

# 上溝五部會 神輿大改修 實行委員會 設立趣意書

上溝五部會（田中・元町・本久各自治会）会員の皆様には、平素より上溝五部會の運営・活動に格別のご支援・ご協力を賜り、心より御礼を申し上げます。

さて、毎年七月に執り行われます「上溝夏祭り」は、江戸の時代から「てんのうまつり」として親しまれ、現在では神奈川県北部最大の祭りとして、上溝において無くしてはならない伝統行事となっております。祭禮の主役である神輿ですが、上溝五部會の神輿は江戸時代中期の文化六年（一八〇九年）、半原宮大工柏木匠家総源流であり、江戸城御本丸作事方（大工棟梁）を拝命した名宮大工 柏木右兵衛安則の手によって建造されたと伝えられ、現役の神輿としては上溝はもとより近郷近在でも随一の伝統を誇るもので、会員にとつてかけがえのない貴重な文化財産であります。建造より二百年を迎えておりますが、幾度もの修理・改修が重ねられ、最近では昭和五十七年（一九八二年）に総修理が行われ、美麗絢爛な姿を維持しております。しかし最後の修理から三十年が経過した昨今では、各所装飾の傷みが見られ、構造体の老朽化も懸念され、上溝五部會の運営方、祭禮関係者のみならず、会員の皆様からも神輿の修理・改修を望む声が多く寄せられております。

以上の状況から、専門家による神輿の点検を行い、上溝五部會の現運営方と会員代表とともに協議・検討を行ってまいりましたが、大規模な修理・改修を行う時期が到来したとの結論に達し、ここに神輿大改修 実行委員会を組織して、具体的検討に着手する運びとなりました。

この貴重な文化財産を後の世まで継ぎゆくことは、平成の世に生きる我々の使命であります。本事業を遂行するにあたり、概算で一千五百万円程の経費が見込まれておりますが（仮に同等の神輿を新調した場合は四千万円程必要となります）、今後上溝五部會の会員の皆様には浄財の御奉賛をお願いしたいと考えております。昨今の景況は一部に明るい兆しが見え始めたものの依然厳しい状況であります。会員の皆様におかれましては本事業の趣旨をご理解賜りますとともに、格別のご支援・ご協力を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

## 一、事業内容

- ・ 神輿の修理・改修
  - ・ 神輿の由緒・歴史考証
  - ・ 改修竣工記念行事
  - ・ 改修記念誌の制作
- 一、事業予定
- ・ 神輿改修竣工 平成二十八年七月（予定）

平成二十五年七月吉日

上溝五部會	神輿大改修	実行委員会	委員長	佐藤 勇幸
全			副委員長	川村 直樹
全			副委員長	吉川福太郎
全			副委員長	本庄 岑生